

全国初！未来を変える。ビッグデータが導く、健康革新 ～一人ひとりの健康リスクを先読み・先回りでサポート～



×



令和7年5月19日（月）

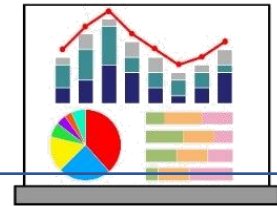
市長記者会見

1 横須賀市のこれまでの取り組みと課題

令和4年度から地区担当保健師による、
赤ちゃんから高齢者まで、全世代へのアウトリーチ型の保健活動を開始



限られた人員で、より多くの市民へ、よりの確な健康支援を届けるには、
市民一人ひとりの、医療、介護、健診などの状況を把握、分析し、
アプローチすることが必要



課題

- 健康支援に必要なデータは、所管課ごとに、それぞれのシステムでバラバラに存在しているものもあり、対象者の状況把握に時間がかかる
- データ分析のノウハウも十分ではない



2 ビッグデータ解析で、より必要な人に保健指導を

【見つける】

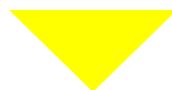
医療、介護、健診データを個人単位で連結し、
AIを活用したビッグデータ解析に基づき「これから困りそうな人」を抽出

【支援する】

保健師が電話・訪問・健康教室等で、その人にあった支援を実施
支援データを蓄積していくことで、支援方法の改善と精緻化

【変わる】

入院・介護リスクの軽減、回避
市民一人ひとりの「健康で自立した期間」の延伸



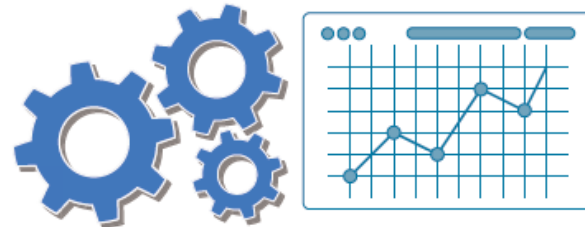
健康寿命の延伸と医療費の削減

約2,000万人分の
医療ビッグデータ

(参考) イメージ図

一人ひとりに
寄り添う支援を提供へ

予測モデルを構築



3 令和7年度の事業内容（糖尿病予防）

糖尿病発症リスクの高い市民を抽出し、保健指導を実施

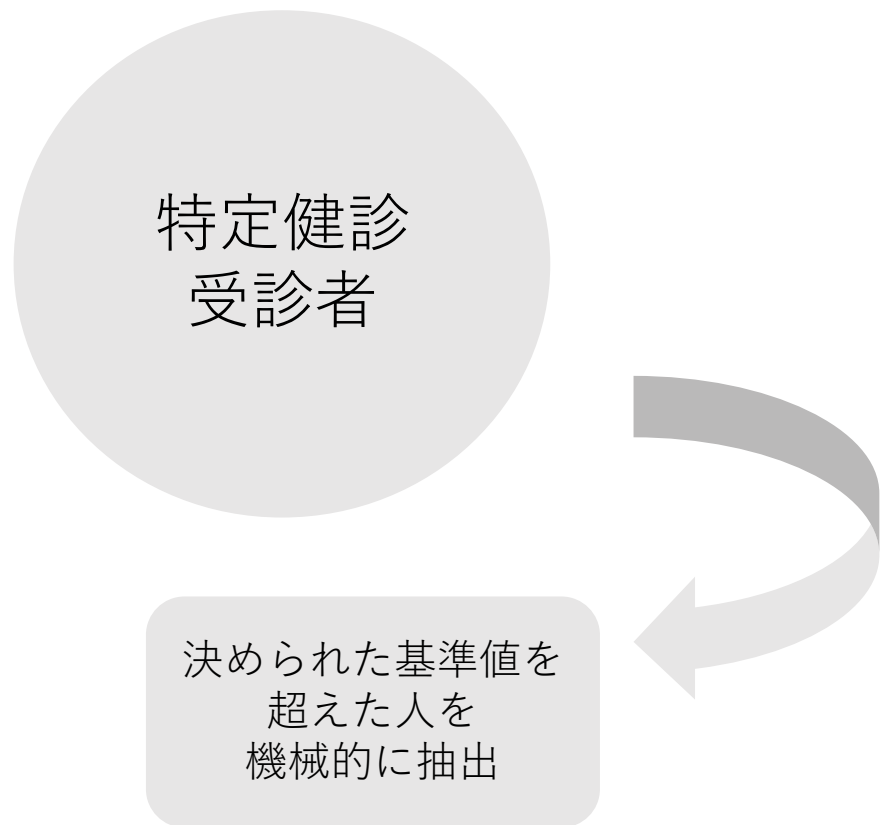
これまで気づけなかった、糖尿病発症リスクが高い市民を
AIを活用したビッグデータ解析により、**200人**抽出し、保健指導を実施します
また、既存事業の対象者もデータ分析を元に精査します

スケジュール（予定）	
7月～9月	R6年度のデータを抽出、分析
9月～10月	対象者200人に通知
11月～1月	希望者に保健指導を実施

糖尿病発症リスク者の抽出方法の比較

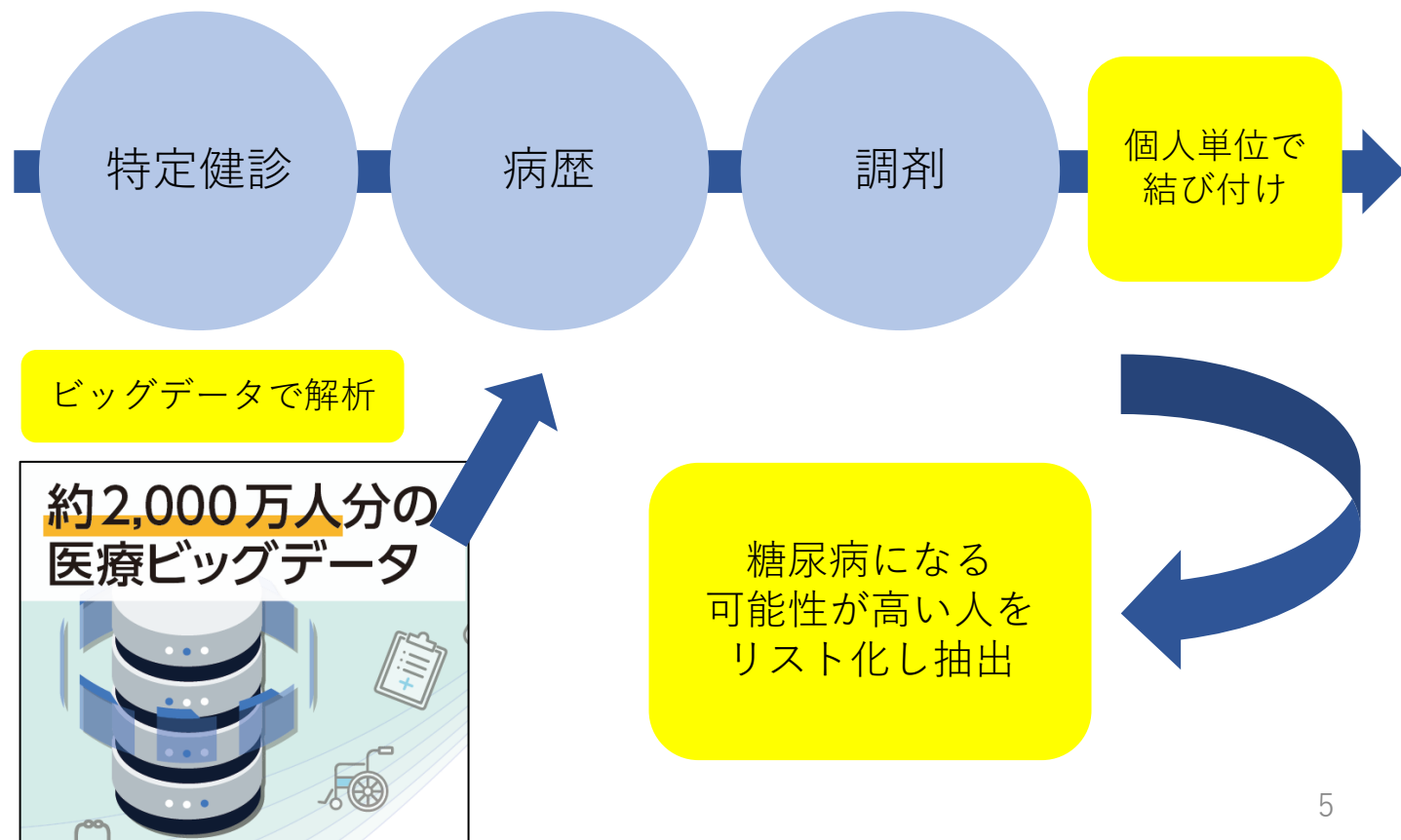
Before

特定健診の血圧や血糖値について、
主に国が示す基準値を超える人を抽出



After

特定健診以外に、病歴、調剤などのデータを個人単位で結び付け、ビッグデータと照らし合わせ、基準値に満たなくても、糖尿病になる可能性が高い人を抽出



4 令和8年度以降の事業内容（介護予防）

要介護リスクの高い市民を抽出し、保健指導を実施

対象を**後期高齢者**（75歳～）に広げることで、より多くの市民へ、データ分析に基づいた保健指導を届ける

効果的な対策により、年を重ねても元気で、**いきいきと暮らせる**まちへ

令和7年度に介護予防事業を検討、令和8年度に予算化予定

【検討事項（例）】

- ・ 要介護リスクの高い市民を抽出し、介護予防事業への誘導
- ・ 介護予防事業の効果測定
- ・ 介護サービスの適正化

5 分析対象者数の推移見込み

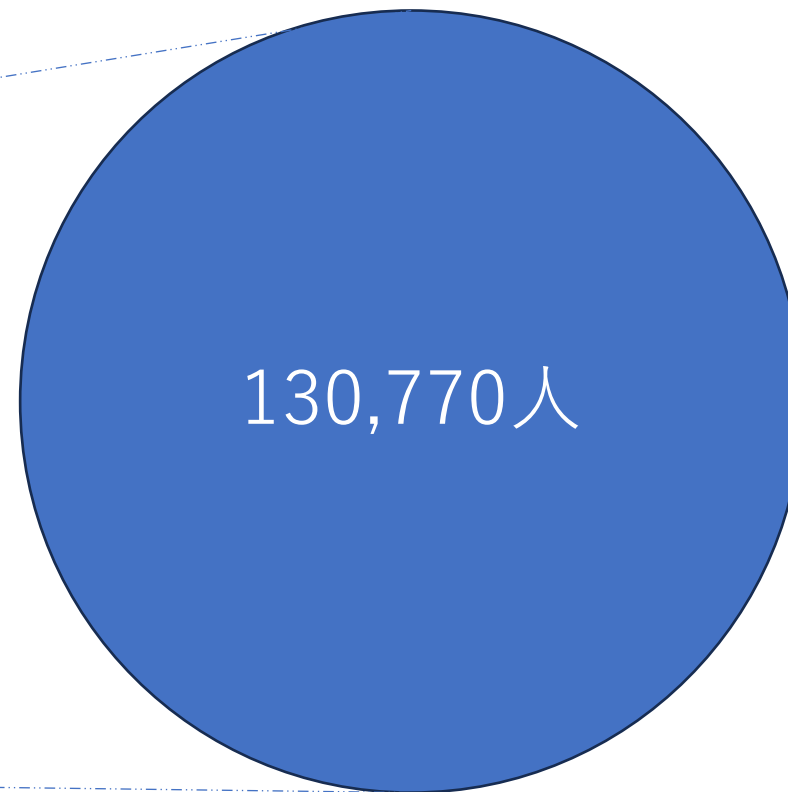
令和8年度以降は、より多くの市民にデータ分析の恩恵を届けていく

令和8年度分析対象者

令和7年度分析対象者



40歳以上の国民健康保険加入者



40歳以上の国民健康保険加入者
+
後期高齢者医療制度加入者